

# 美しい石鎚山系を次代へつなぎ、持続可能な登山環境の実現に向けて、 『入山協力金制度（案）』の検討に着手します

## 1 要 旨

- 西日本最高峰の標高を誇る「石鎚山」をはじめ、東西約50kmに広がる石鎚山系は、**自然・希少生物・登山環境**など魅力に溢れており、**地域住民の誇り**として親しまれています。
- 石鎚山系では、**登山道やトイレ等の維持管理**をはじめ、自然保護にかかる諸費用、守り手の後進育成など多くの維持費が必要で、**行政に依存しない財源確保**が喫緊の課題です。
- そこで全国で事例が進んでいる「**入山協力金制度**」を石鎚山系でも導入するため、『石鎚山系連携事業協議会』において検討に着手することとなりました。



色鮮やかな紅葉に染まる石鎚山



登山道整備やシカ食害対策等を実施

### <石鎚山系の課題>

- ・行財政等に依存された登山道整備体制
- ・守り手の高齢化（後進育成）
- ・トイレ、山小屋等の老朽化（維持管理費の高騰）
- ・道標や注意看板などが不十分

## 2 入山協力金制度 とは

登山道や山岳トイレなどの利用に際し、受益者負担とする考えの下、登山口やビジターセンター等で一定額の協力金（寄附扱い）を求めるもの。

（「入域料」「入山料」「協力金」などと呼称されます）

自然公園等の維持管理費用を安定的に確保し、自然環境の保全と適正な利用を持続的に推進するとともに、利用者が負担の意義や用途を知ることを通じて、自然環境保全に対する意識を高めていただくことができます。

### <全国での主な導入エリア> ※以下エリアは一部です

- ・大雪山国立公園（北海道）
- ・妙高戸隠連山（新潟県）
- ・北アルプス南部、槍・穂高連峰（長野県等）
- ・伊吹山（滋賀県）
- ・大山隠岐国立公園（鳥取県等）
- ・阿蘇くじゅう国立公園（大分県）
- ・屋久島（鹿児島県）



伊吹山入山協力金の様子

## 3 『石鎚山系連携事業協議会』とは

石鎚山系をまたぐ4つの市町村（愛媛県西条市、久万高原町、高知県いの町、大川村）では自治体の枠を超えて協議会を設立。学識経験者・観光及び山岳関係団体等と連携し、多様な施策に取り組んでいます。



## 4 今後のスケジュール（予定）

- ◎令和8年度 …協議会総会にて検討会を設立
- ◎令和8～9年度…今後の石鎚山系を守るための『ビジョン』『計画』を策定
- ◎令和10年度 …協力金徴収に係る整備、体制を整え、令和10年秋頃から徴収開始